

MEMO_MINUTES

Paderborn, 29/11/2010

Contact: tech.support@malighting.com

USB による grandMA2 のアップデート

このドキュメントでは、**grandMA2 卓**、**Replay Unit** あるいは **NPU**(Networking Process Unit)のアップデートについて説明しています。

アップデート処理にかかわる際は、卓のパネル上にあるキーは用いないでください。USB スティックから起動した場合、それらのキーは働きません。このマニュアルでコマンドキー '**Please**' を押すよう指示されている場合、卓のパネルにあるキーではなく、内蔵キーボードの '**Please**' か外部キーボードの '**Enter**' キーのみを使ってください。

grandMA 互換モードあるいは grandMA2 モードで起動すればすぐに、卓パネルの '**Please**' が普通に使えるようになります。

注意: フル・インストールでは、grandMA2 のハードディスクが完全にフォーマットされ空になります。完了したショーファイルや他ユーザが作成したデータを保存するために、FTP アクセスによって、すでに完了しているショーファイルをコピーしておいてください。

標準アップデートだけを行う場合は、データ・セクションは削除されません。

目次

USB スティックの準備	2
ソフトウェアをアップデートするための卓の起動	4
新しいソフトウェアのインストール	5
最初の起動	8

USB スティックの準備

少なくとも 2GB の容量を持つ USB デバイスを推奨します(例: CORSAIR)。

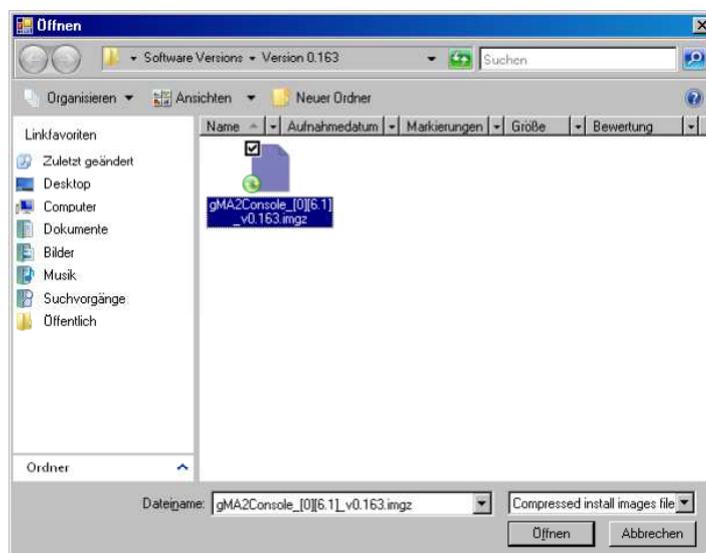
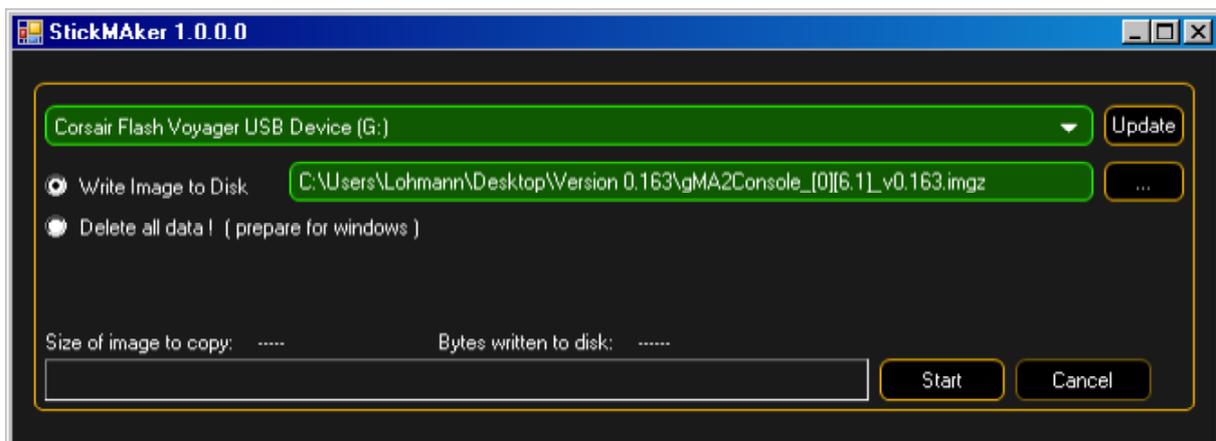
Windows XP または Vista OS で、2つのファイルをダウンロードする必要があります。アップデートに関係しているのは、' **StickMaker-x.x.x.x.exe** ' および卓イメージファイル ' **gMA2Console_[x][x.x]_vxxxx.imgz** ' です。アップデートには、最新版を用いてください。

最初に、PC に **StickMAker** のプログラムをインストールします。プログラムを起動する前に、空の USB スティックを PC に接続しておいてください。**StickMAker** は、保存デバイス内の全データを完全に消去しますので、USB スティックに保存されている必要なデータはバックアップしておいてください。

Windows 7 で **StickMAker** を動作させている場合は、**Administratord** でプログラムを実行しているかを確認してください。

USB スティックを準備するためのソフトウェアの設定:

右端の矢印マークをクリックしてターゲット・ディスク(USB スティック)を選び、また ' **Write Image to Disk** ' というオプションを選択してください('...' ボタンをクリックして*.imgz というファイルタイプを選び、イメージファイルを選択して開きます)。

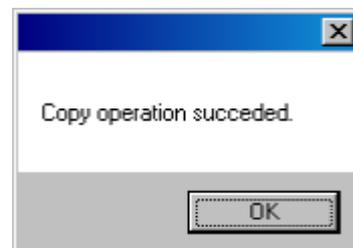
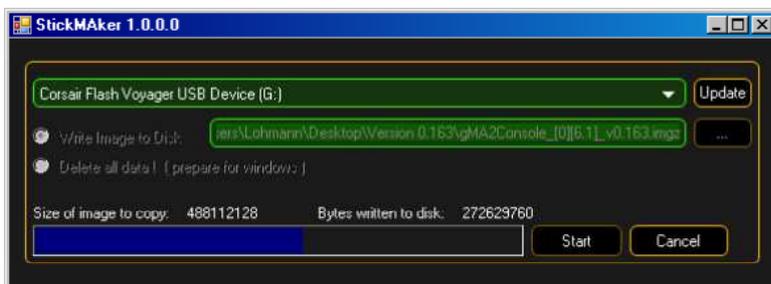


注意: ‘Delete all data!’ オプションは、USB デバイス内の全ファイルを削除し、そこに書き込まれたすべてのイメージデータを消去します。これは、スティックを再び Windows で利用できるようにするためのものです。StickMAKER でこのオプションを選んで ‘Start’ ボタンを押すと、Windows または OSX の FAT 形式でスティックがフォーマットされ、普通のアプリケーションで再び利用できるようにします。

どちらのオプションを選んだ場合も、右下の ‘Start’ を押して処理を開始する必要があります。確認のためのポップアップが出ますので、よければ ‘Yes’ / ‘Ja’ をクリックしてください。



すべてのデータが転送されるまでには 1、2 分かかります。青いプログレスバーで進捗状況が表示されます。処理が完了すると新たにポップアップが出ます。StickMAKER プログラムを閉じ、USB 保存デバイスを抜いてください。



ソフトウェアをアップデートするための卓の起動

卓に電源を投入したら、画面を確認してください。下のような初期画面で 'TAB' を押すと、すべての段階を確認できます。初期画面には、どのボタンを押すとブート・メニューでデバイスを選択できるかが表示されています。

通常、ブートメニューに移るためのボタンは F11 キーですが、BIOS のバージョンや使われているマザーボードによっては、違うキーの場合もあります。そのときは、初期画面の下端に表示されます。NPU、RPU および卓をアップデートする際にもっとも一般的なキーは、'F11'、'F12'、'ESC' です。

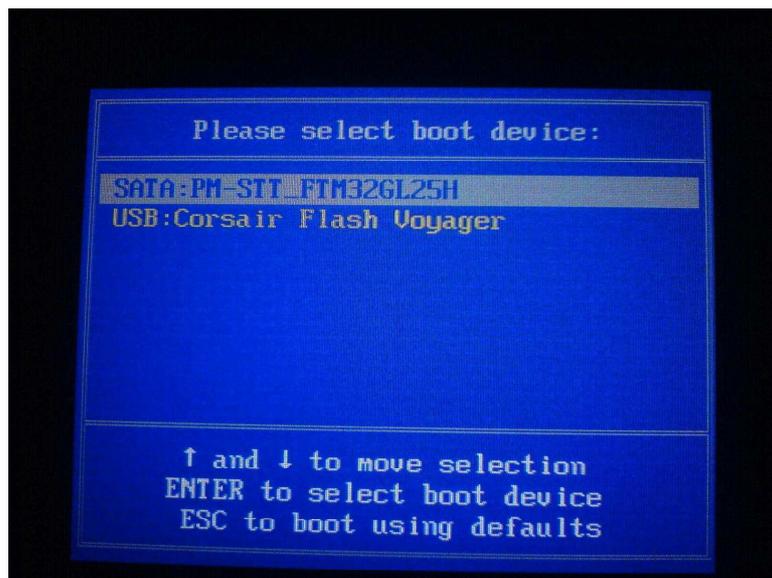
F11 キーにはどのようにアクセスしたらよいのでしょうか？ もっとも簡単なのは、外部 USB キーボードです。外部キーボードを用いてアップデートのために卓を起動する場合は、電源投入前に接続しておいてください。

'F11' キーを押して BIOS で起動優先順位を変更する別の方法として、引き出しにある内蔵キーボードを用いることもできます。起動優先順位の変更については、このマニュアルで後述されています。引き出しの内蔵キーボードの F11 および F12 キーは、F1 および F2 キーと共用になっています。F11 または F12 キーにアクセスするには、(キーボードの右矢印の上にある)FN キーを同時に押してください。

USB スティックを挿入し、外部 USB キーボードを接続してから、卓の電源を入れます。

手動で卓の起動順を選択する際に、MA インストーラ・メニューが自動的に表示されないときは、起動プロセスの途中で 'F11' キーを何回か押してください。

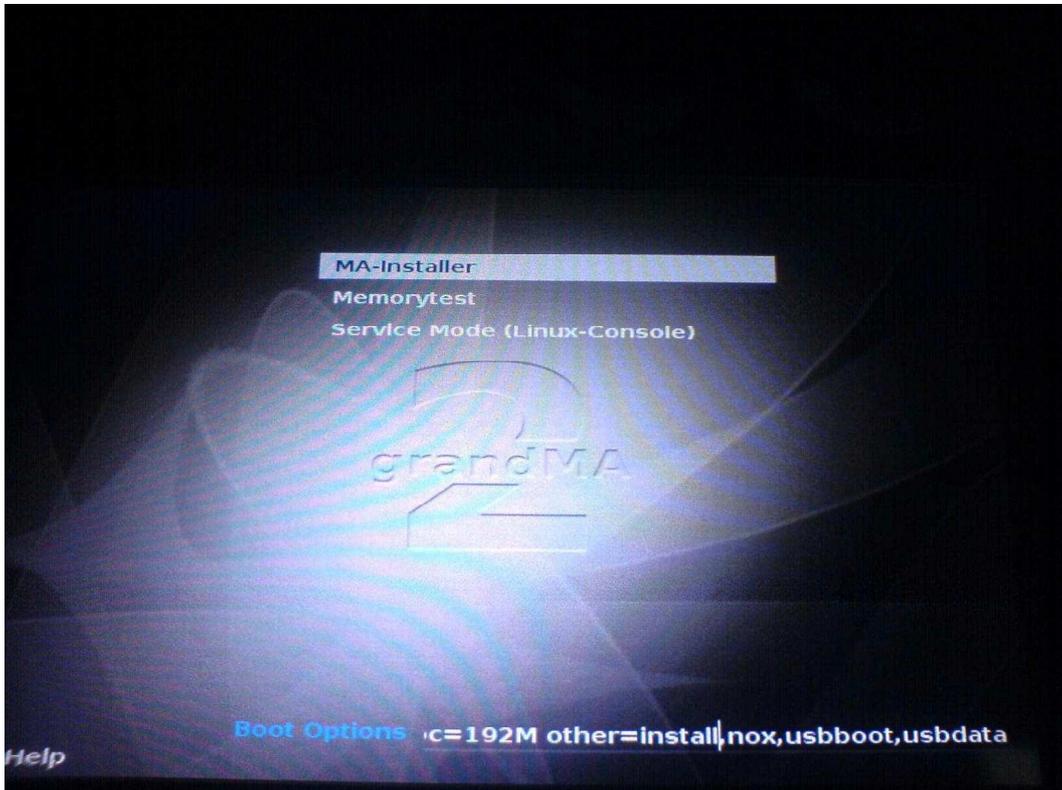
たまに、卓が優先順位の直接的な変更を受け付けないことがあります。次の解決策は、手動で BIOS に入ることです。これは最後の解決手段にすべきです。



USB スティックから起動できたら、次項に進んでください。

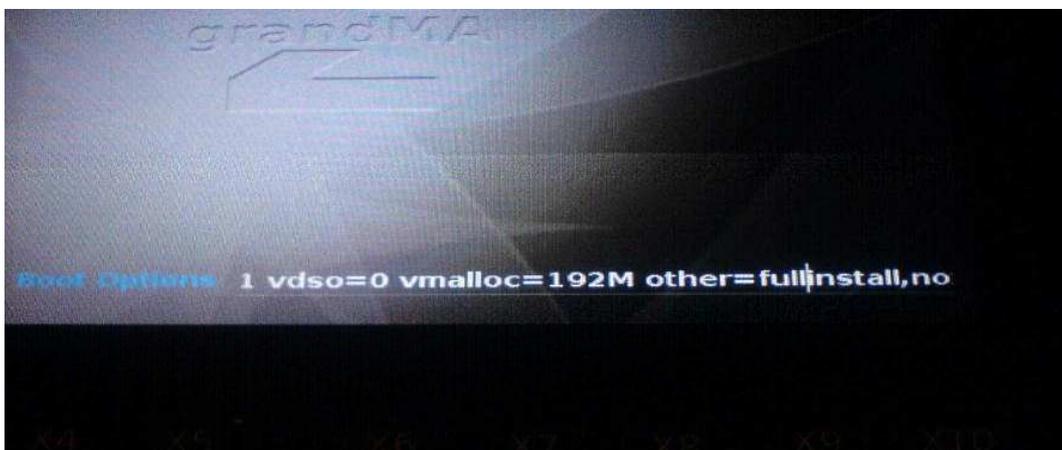
新しいソフトウェアのインストール

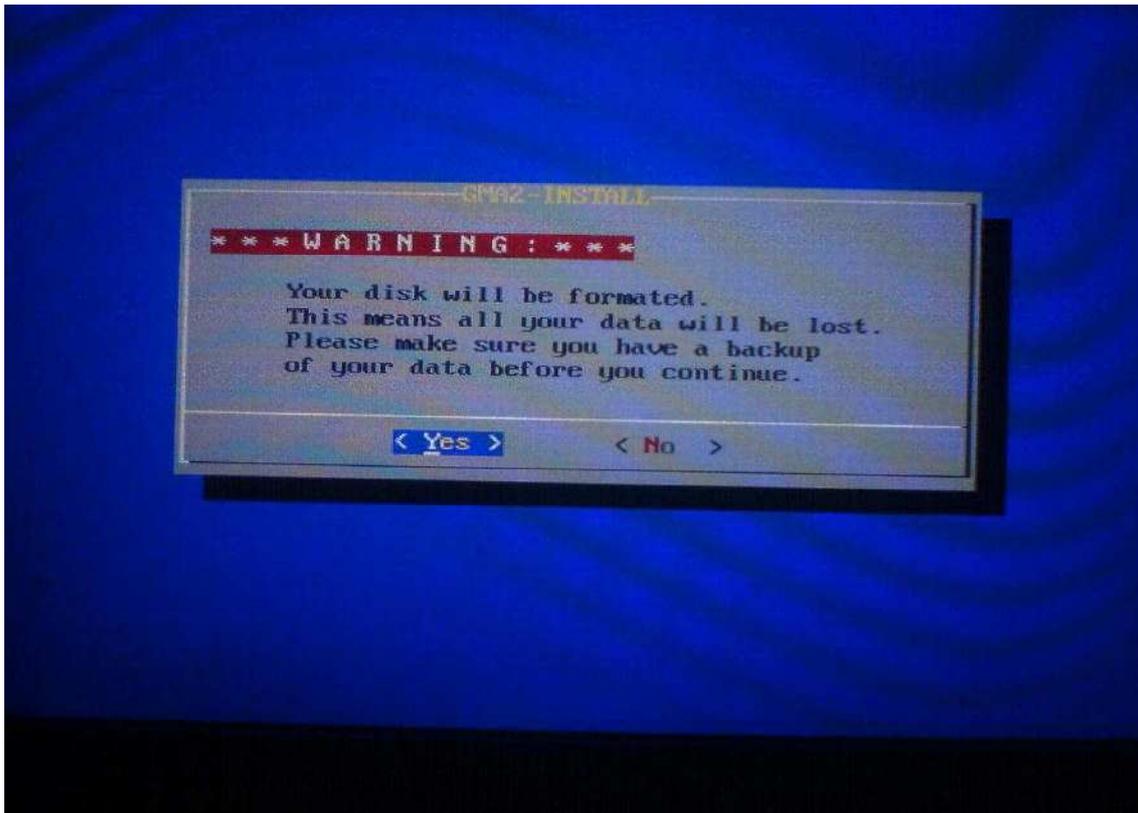
USB スティックから起動すると、下のような画面になります。もしそうでない場合、USB スティックから起動していません。「ソフトウェアをアップデートするための卓の起動」の項で述べられているブート・オプションをもう一度確認してください。



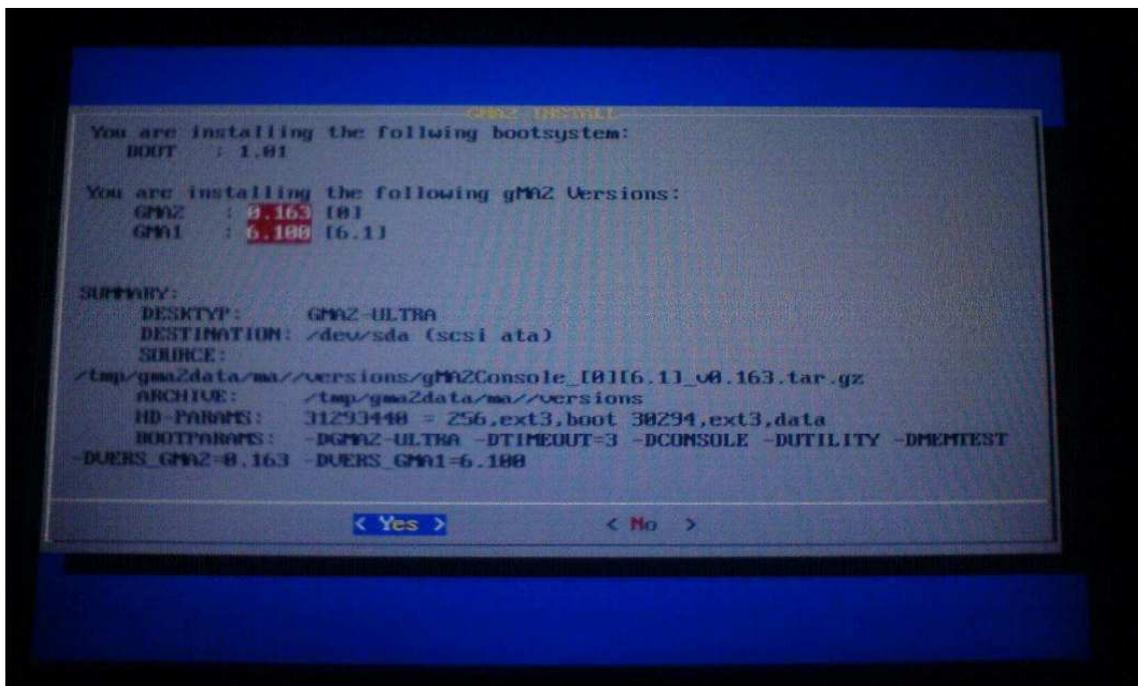
画面の下端には、「**Boot Options**」という文字と、実行するコマンドラインが表示されています。左右矢印キーでカーソルを「**install**」という後の直前に移動させ、キーボードで「**full**」と入力してください。最終的な結果は下のようになります。誤って「**Memorytest**」や「**Service Mode**」を選ばないように、「**MA-Installer**」が選ばれていることを確認してください。

「**Please**」ボタンを押して、設定処理を開始します。ハードディスクをフォーマットするか聞いてきますので、「**Please**」ボタンを押して開始してください。





後のインストール処理は簡単です。次の画面で、インストールしようとしているバージョンが示されます。カーソルキーで‘ Yes ’を選び、キーボードで‘ Please ’を押して開始します。



数秒後に USB スティックを抜くように促されます。スティックを抜いたら‘ Please ’を押してください。

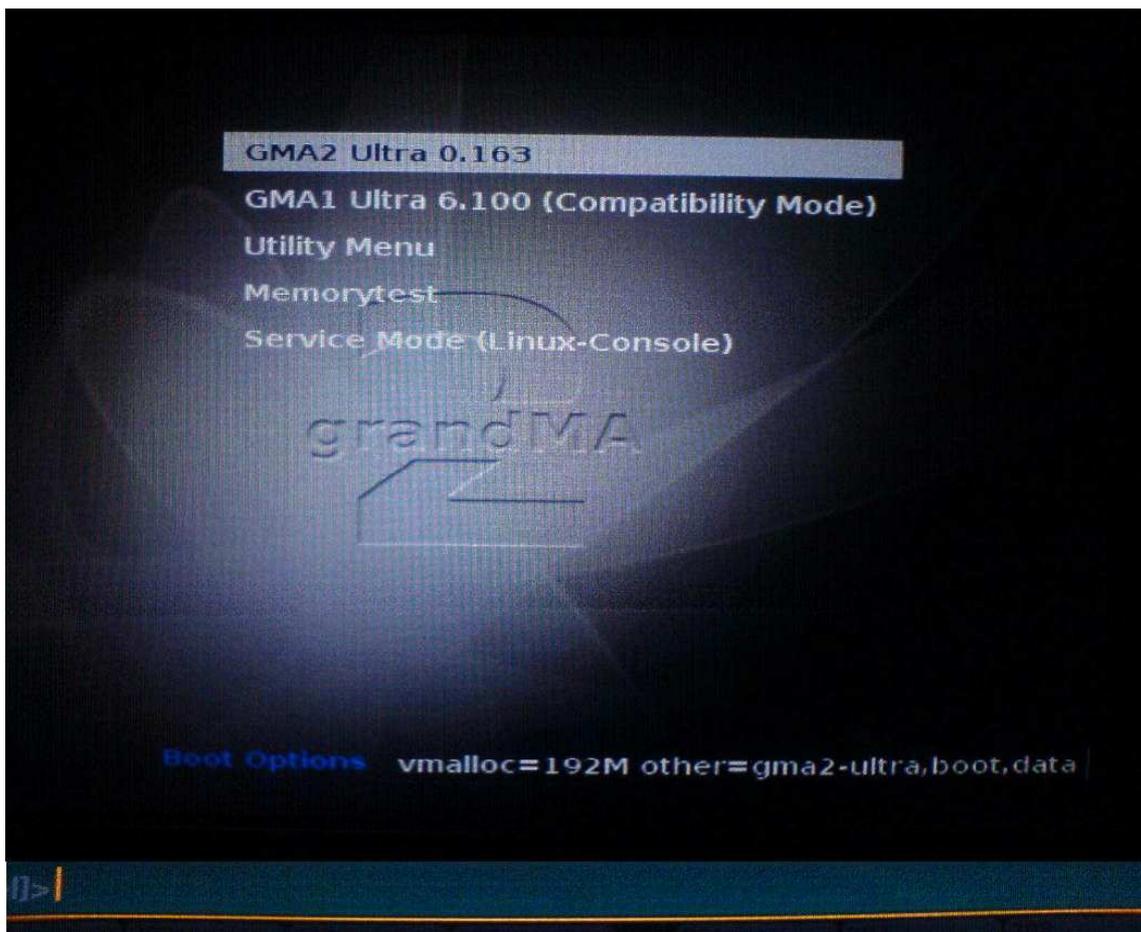


これで卓は、インストールしたソフトウェア・バージョンで自動的に再起動します。卓をモード 1 で動作させていた場合はモード 1 で、モード 2 で動作させていた場合はモード 2 で起動します。

最初の起動

最初に卓を起動した場合、ブート・オプションが表示されます。ここで、**grandMA** シリーズ 1 (モード 1) か **grandMA2** (モード 2) かを選べます。卓をアップデートした後の最初の起動時には、画面が一回「フラッシュ」するかもしれません。これは、オートメイト CAN バスが、内部に組み込まれたモジュールや、卓に接続されているモジュール(例: 外部フェーダウイング)のすべてを更新するからです。

キーボードのカーソルキーで '**GMA2**' を選び '**Please**' を押してください。



注意: 外部フェーダウイングを使用したい場合、アップデート処理に進む前に、それが接続されていることを確認してください。

'**MA**' ボタンを押したまま、卓にある '**Please**' を押してください。これで、カーソルがコマンドラインに置かれます。カーソルが自動的にコマンドライン位置に行かないときはいつでも、'**MA**' + '**Please**' でカーソルが適切な位置に移動します。

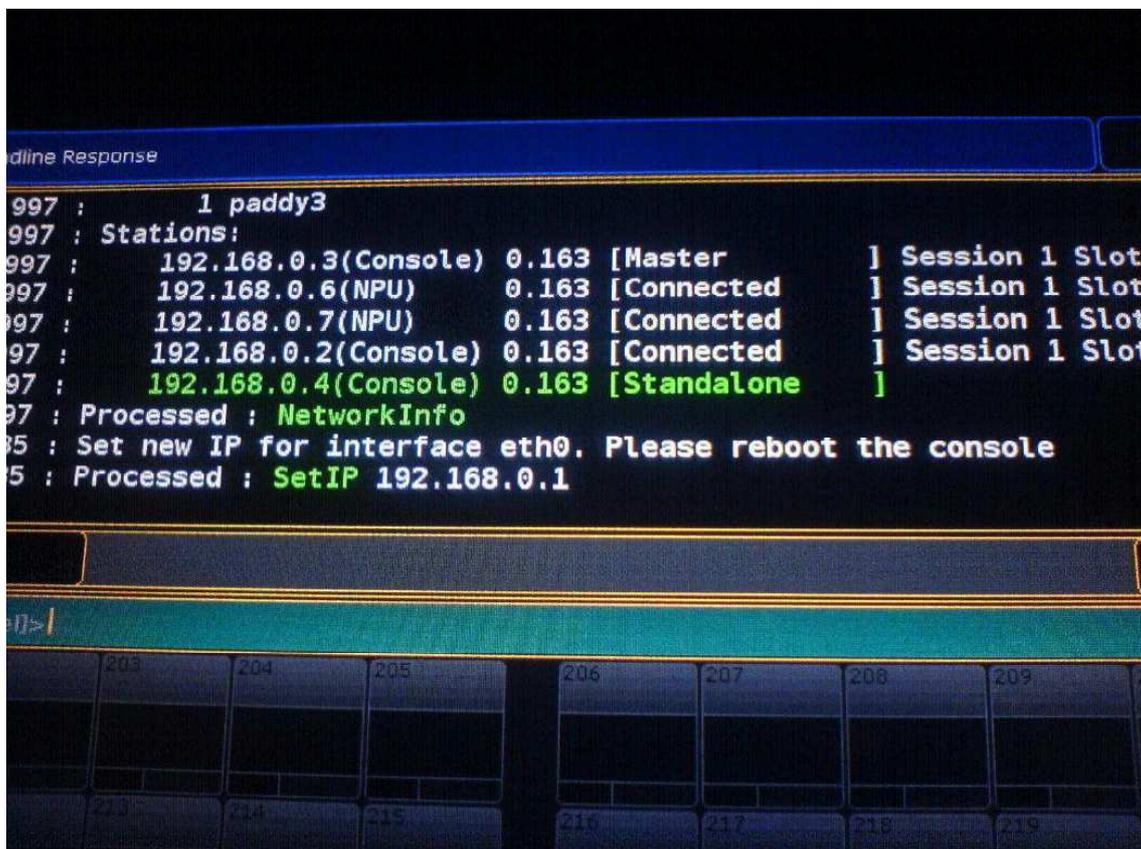
'**ver**' (Version)と入力し、'**Please**' ボタンを押してください。これで、実際にインストールされたバージョンを確認できます。

もしモジュールが正しいバージョンになっていない場合は、'**updatef**' (UpdateFirmware)と入力し、'**Please**' ボタンを押してください。すべての CAN バスモジュールがアップデートされます。

卓で IP アドレスを確認するには、コマンドラインに ' ni ' (NetworkInfo)と入力し、続けて ' Please ' ボタンを押してください。新たなインストールによって以前の設定データがすべて削除されたため、IP アドレスは 192.168.0.4 になっているでしょう。

手動で IP アドレスを設定するには、' setip 192.168.0.x ' と入力してください(x は設定したい新しい IP)。この例では、新しい IP を 192.168.0.1 としています。

この後、' reboot ' と入力し ' Please ' を押すことによって、卓を再起動する必要があります。



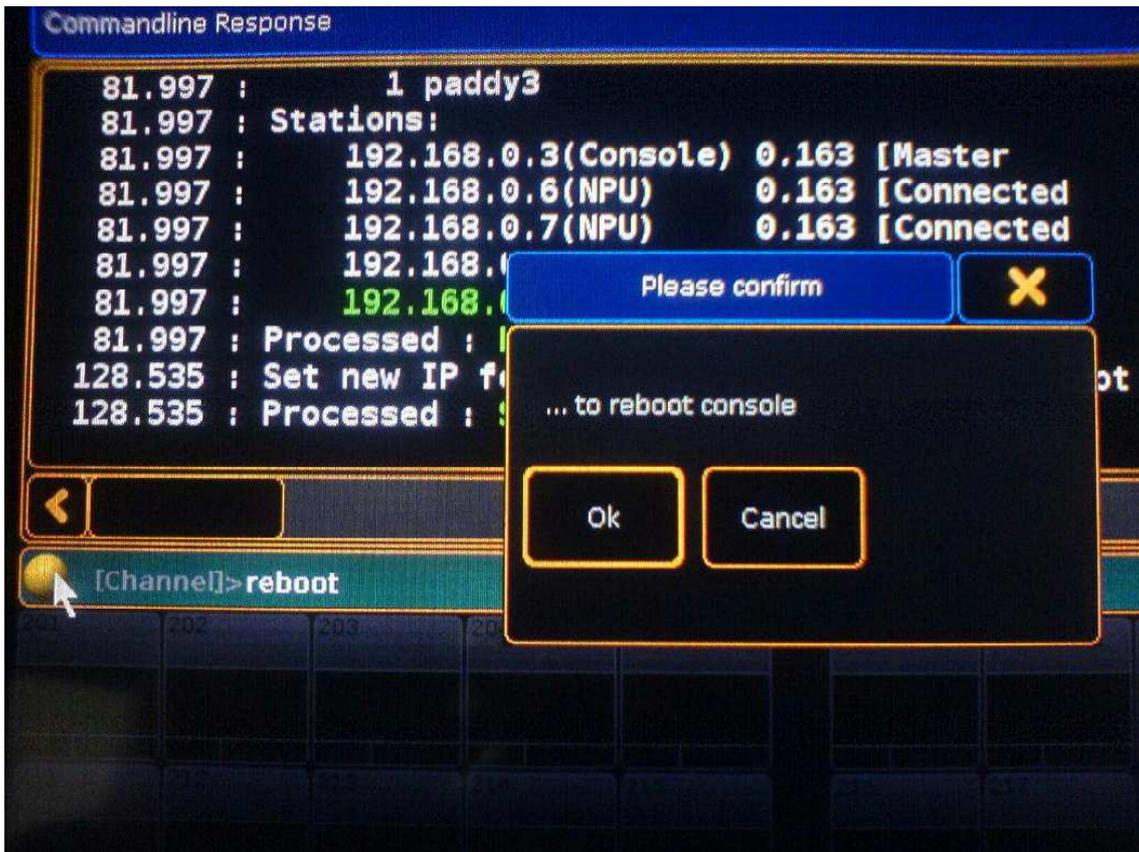
```

dline Response
997 :      1 paddy3
997 : Stations:
997 :   192.168.0.3(Console) 0.163 [Master      ] Session 1 Slot
997 :   192.168.0.6(NPU)    0.163 [Connected ] Session 1 Slot
997 :   192.168.0.7(NPU)    0.163 [Connected ] Session 1 Slot
997 :   192.168.0.2(Console) 0.163 [Connected ] Session 1 Slot
997 :   192.168.0.4(Console) 0.163 [Standalone]
997 : Processed : NetworkInfo
997 : Set new IP for interface eth0. Please reboot the console
997 : Processed : SetIP 192.168.0.1

```

The screenshot shows a console window with a dark background and light-colored text. The text displays network station information, including IP addresses, connection types (Console, NPU), and session details. A message prompts the user to reboot the console after setting a new IP address (192.168.0.1). Below the console window, a grid of buttons is visible, with numbers 203 through 215 shown on the top row.

コマンド画面に確認メッセージが出ますので、**OK** を押してください。選択した **grandMA2** モードで卓が再び起動します。



注意: この方法は、**grandMA2** モードの卓に対してのみ有効です。**grandMA** モードで IP アドレスを変更するには、卓を **grandMA** モードで起動し、**grandMA** のマニュアルにしたがって IP アドレスを設定してください。

IP アドレスの変更は、**Setup - Network - MA Network Control** でも可能です。ここでは、ステーション IP を変更できます。同様に再起動を求められますので、**OK** を押してください。